

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち

山菜採りはマナーを守り楽しみましょう

根室市市有林監視員

山田

俊彦さん
(47)

入林する方々に声をかけることで、一人ひとりが周囲へ注意を払ってくれるといいます。「厚床方面では、これからクマが活動しだします。火災だけではなく、クマの情報にも注意して事故のないようにしてほしいです。」と、山林での危険性も訴えます。

また、以前に上空から根室のまちを見たときに、林がこんなにも少ないことに驚いたといいます。市有林は、風や霧を防ぐ役割を持ち、私たちが生活するうえでも欠かすことができないものです。そんな林を大切に守りたいというのが、山田さんの願いでもあります。

林野火災予防強調期間の4月21日から5月31日まで、関係機関が連携しさまざまな火災予防への取り組みを行っています。その一員の山田さんも「山火事注意」の旗を手に皆さんに注意を呼びかけています。

亡くなった父親の健一さんが市有林の監視員を務め、その後、俊彦さんも市からの委嘱を受け、23年間にわたり業務を引き継いでいます。「今の時期は、山林もまだ枯草状態でたばこの火など、ちょっとした不注意で火災につながってしまう危険があります。十分注意していただきたいですね。」と話す山田さん。牧の内で酪農業を営みながらの監視は容易ではありませんが、

そして、山菜採りのために、牧草地の横断や農作業道路の無断駐車を見かけますが、所有者には大変迷惑な行為となっています。人の土地に入るときには、一声かけることを忘れずに山菜採りを楽しみましょう。